

牛松山（636m）丹波富士

2020.3.18 晴れ

コロナの影響で様々な催しが中止となる中、公共交通機関を避け 麓まで車で行くことになった

国分バス停近くの駐車場より2キロ程 集落を南に下る。参加者の会員5人ともこの山は初めて。参道への曲角を探しながら歩く。<金毘羅神社まで2.8km>の案内板を見つけ東に進む。集落を過ぎ 竹ヤブを抜け福性寺を過ぎるとすぐに鳥居が現れた。

ここが参道の入口。緩やかな尾根の登りには町石があり 2丁、3丁・・・5丁・・・と続く。18丁までであるのに ○合目の表示と思い込み 10丁まで来ても山頂にはならず勘違いに気付く。まだ半分程しか登っていない。長い緩やかな尾根の木々の間からは京都盆地在下にひろがっている。たくさんのアンテナのある小塩山がわかる。ミツバツツジの花芽はうっすらピンク色をみせ、アセビの花はもう満開。今日はとても暖かく水分補給を気を使った。最後は少し急坂になったが鳥居が現れ石段を登り神社に到着。境内の奥には放送局の共用アンテナがあり その先が牛松山の山頂になっていた。ここで昼食タイム。

下山は駐車場に近い愛宕神社へ。山頂から少し下った所に牛松山の三角点（629m）がある。その先にまたテレビアンテナ基地があり登山道は整備されているようだ。登りよりは距離が短いので急坂ではあったが歩きやすく 1時間程で神社の境内に下山。

本殿(重文)には(全国愛宕本宮)の札がかかっている。京都愛宕研究会によるとこの亀岡の社が本宮で愛宕山頂の神社はこの場所から遷座したとのこと。境内には亀岡の銘木として立派なモミ、イヌマキ、大スギがあった。境内の解説版を読み 牛松山の麓にある本宮(別名 元愛宕)という説明に少し納得。沈丁花がちょうど満開で境内にはその香りが漂っていた。

神社から20分程で 集落の中を抜け駐車場に着いた。背後にはさっき登った牛松山の全容の姿が望め春の楽しい里山ハイクを終えた。

メンバー 会員5名 一般1名

コース 駐車場 9:56→福性寺 10:55→牛松山 12:23~13:00→愛宕神社 13:56→
駐車場 14:27

距離 8.7km

(記 Fujii)



バス道路から入る案内看板



竹林の道



金毘羅道の石碑



福性寺



福性寺横が登山口



金毘羅神社の鳥居



金毘羅神社



この奥が牛松山山頂



牛松山



愛宕神社



沈丁花



集落から望む牛松山